



デンマークの 食と暮らし研究会

NEWS LETTER MAR 2022

発行：NPO法人デンマークの食と暮らし研究所 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル南館12F
Tel 03-3213-4801 Fax 03-3213-5406 ホームページ : <http://www.danishforum.jp/> メール: info@danishforum.jp

LGBT in デンマーク

北欧の国々は、対人関係や性別に関してオープンマインドであると定評があります。これは、約100年前までスカンジナビアの文化を支配していた伝統的なキリスト教の価値観との決別に関連しているかもしれません。当時から一人ひとりがライフスタイルを選択する自由は、性的マイノリティの人々にとっても大切な事だと社会で強く感じられていました。しかし実際には、1933年まで同性間の性的・恋愛の関係は違法でした。

1989年、デンマークは世界で初めて同性カップルのための登録パートナーシップという法的制度を導入しました。この制度は同性カップルを法的に認証する手段でしたが、LGBTの活動家たちからは、これは完全な合法化への第一歩に過ぎないとみられていました。

そして2012年、同性婚の合法化が成し遂げられました。今日、デンマークの国教会ではあらゆる性的指向のカップルが結婚をすることが可能です。これはデンマーク人に広く受け入れられましたが、同性愛者の結婚を執り行うことを拒む一部のキリスト教の司祭からは抗議がありました。教会は国によって運営されており、司祭は事実上公務員ですが、司祭が自らの信念に従って宗教を实践する事も認められた権利です。法が成立してから10年が経ちましたが、問題は完全には解決されていません。何よりも、これはデンマーク人が自分たちの事を近代的でベラルだと思っているにもかかわらず、伝統的なキリスト教の価値観が深く浸透している事を示しています。

それでも、コペンハーゲンは最もゲイフレンドリーな都市の1つとして認識されています。

毎年8月のコペンハーゲンプライドパレードは、LGBTグループだけではなく経営者や王族を含む社会のあらゆる部分から支持を集めています。(Jens Ring)



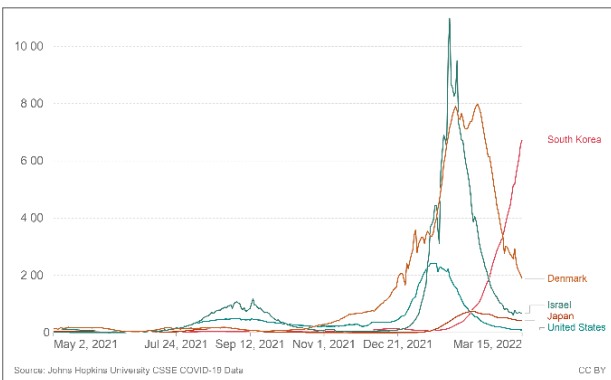
コペンハーゲンプライドパレードの様子

コロナ後のデンマーク

デンマークでは、新型コロナウイルスはもはや社会への致命的な脅威とみなされていません。2022年1月末に規制が解除され、デンマークはEU加盟国として最初に通常の生活に戻りました。まだマスクをつけている人もいますが、パンデミックはもうすぐ終わるだろうというのが一般的な感覚です。感染者数がピークに達しているにもかかわらず規制を解除することに矛盾を感じるかもしれません。しかしこの判断は、新型コロナウイルスの変異株は、感染力が強いけれども危険性は低いことを示す科学的、医学的データに基づいています。

パンデミックが始まった頃、経済は深刻な影響を受けるだろうと予測されていました。しかし検査やその他の予防措置に費用がかかったにもかかわらず、全体的な影響は大きくないと考えられています。そして予想外の影響もありました。例えば、パンデミック以前は一部(移民を背景にもつなど)の若者が、就職先を見つけにくいという問題がありました。デンマークは世界で最も積極的にコロナの検査計画を展開した国のひとつであり、この取り組みは若者たちの新たな就職口につながりました。デンマークが第二次世界大戦以来の困難な状況に立ち向かう上で、彼らは重要な役割を務めました。一方で、労働市場は別の面で変化しました。現在、一部の企業は従業員に在宅勤務を促しています。なぜなら事務所のスペースを削減しても生産性は落ちないことが分かったからです。ある大手銀行はコペンハーゲン市内の事務所の25%を業務に支障をきたすことなく減らしました。

他の金融機関も同じような方針です。しかし在宅勤務が良い方法だと皆が賛同している訳ではありません。技術者やITのような高度な解決能力に頼る分野の経営者は、ニュース番組に出演して、在宅勤務は常態化しないだろうと発言しています。彼らは「一緒にコーヒーを飲む」ような内輪の世間話は欠かせないと言います。従業員の幸せだけでなく、仕事の効率やミスを防ぐためにも。デンマーク人の一致した意見は、パンデミックによる経済的な打撃は技術の普及によって和らいだものの、対面で会うことがやはり最善の方法だということです。これは国際間の仕事ではさらに当てはまります。今、ワクチン接種が完了していれば、検疫なしでデンマークに入国する事ができます。仕事だとしても観光だとしても、2022年、デンマークは皆さんが来るのを楽しみにしています。(Jens Ring)



10万人あたりの国別コロナウイルス感染確認者数(人)

マルグレーテ2世女王陛下、在位50年

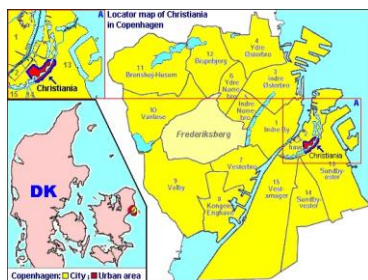
1月14日、デンマークの首都コペンハーゲンにて、マルグレーテ2世女王陛下の在位50年を記念する祝賀行事が行われました。新型コロナウイルス対策で規模が縮小され、一般向けの大規模な記念行事は、9月まで延期されています。マルグレーテ2世女王陛下は父フレデリク9世国王の崩御に伴い、1972年1月14日女性として初めて王位に就きました。即位当時は君主制に懐疑的な声もありましたが、女王はこの50年間スキャンダルを避け立憲君主制の近代化に尽力してきました。2018年の世論調査によるとデンマーク国民の4分の3以上が君主制を支持しており、同国が共和国になることを望んでいるのは14.6%にとどまりました。在位期間はクリスチャン4世に次ぎ歴代で2番目に長く、芸術家、愛煙家としても知られています。



女王のモットーは
「神のご加護、国民の愛、
デンマークの強さ (God's help,
the Love of the People,
Denmark's strength)」



クリスチャニア



クリスチャニアの位置

家、壁に描かれたアートや独自の雰囲気を目当てに年間50万人もの観光客が訪れる観光地でもあります。盗み、暴力、銃やナイフの持ち込み、強い大麻、車の乗り入れ禁止等の独自のルールの下、誰もが発言権を持ち、住民の話し合いで問題を解決するクリスチャニアの存在は、対等に話し合いを進め、それぞれの個性・多様性を受け入れるデンマーク人の国民性があるからこそ成り立っているといえるかもしれません。

APR.2021ニュースレター記事内でとり上げたカーゴバイクは、1970年代からクリスチャニア内の移動手段に使用していたものがコペンハーゲン市内に広まったものだそうです。



クリスチャニア内の様子

クリスチャニアは1971年軍施設の移転後、ヒッピーを中心とした人々が平和と自由を求めて住み着いた、面積34haのコペンハーゲン中心部に位置する地区です。政府との衝突や論争を繰り返しながら、今では住民の個性的な

北京オリンピック2022

2022年2月4日～20日まで開催された北京オリンピック、デンマークは5種目・計63名の選手が参加しました。デンマークは1998年の長野オリンピックのカーリング女子銀メダルが冬季オリンピックで獲得した唯一のメダルです。



カーリング女子に出場したデュボン姉妹は父も兄もカーリング選手というカーリング一家で、妹のマドレーヌ・デュボンはこの時のメダル獲得に影響されカーリングを始めたそうです。デンマークチームは対日本戦で白熱の戦いの末、最終第10エンドで逆転され惜しくも敗戦。その後、中国・ロシアに2勝したものの1次リーグ敗退の結果となりました。その他の各種競技も上位に食い込むことはできませんでしたが、アルペンスキー男子回転のカスパー・ドルビー選手は、参加者88人中43人が途中棄権、失格者が続出する大波乱の中、30位と健闘しました。



カーリング女子出場選手

左からマドレーヌ・デュボン(妹)出場3回目、マチルデ・ハルセ、デニス・デュボン(姉)出場4回目、リナ・クヌーセン、ミュー・ラーセン選手

デンマークにゆかりのある日本人

内村鑑三(1861.3.23-1930.3.28)

1864年デンマークはドイツ・オーストリアとの戦いに敗れ、ユトランド半島南部の最も肥沃な土地であるシュレスヴィヒとホルシュタインを割譲され国民は意気消沈しました。残された不毛の領土を内で補うべく植林の研究に取り組んだダルガス親子、そのデンマーク国民の精神に感銘を受け「デンマルク国の話」として日本で講演し紹介したのが内村鑑三です。この時の講演の地であった軽井沢に、キリスト教思想家であり無教会思想だった内村鑑三に共感したケンドリック・ケログが設計した「石の教会 内村鑑三記念堂」(1988年竣工)があります。お近くにご用の際は立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

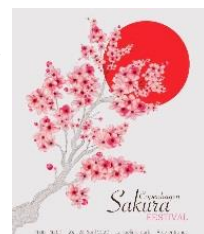


石の教会 入り口

コペンハーゲン Sakura Festival

4月23日・24日コペンハーゲンのランゲリニエ公園にて《Copenhagen Sakura Festival》が開催されます。

会場のランゲリニエ公園にはH.Cアンデルセン生誕200年を記念して日本のアンデルセングループから寄贈された200本の桜が植えられています。この桜フェスティバルは2008年から毎年開催されて



おり、ステージや各ブースで日本人や地元の人も参加する和太鼓や武道や茶道などの日本文化を紹介する様々な催し物が行われ、日本とデンマークの文化交流が行われています。

編集後記

右の記事で紹介したSakura Festival、去年はオンラインで開催されたそうです。日本の桜がデンマークでも親しまれているのはうれしいですね。

EY・AF



デンリッシュマークは、良質なデンマーク産豚肉を使用した製品やメニューに表示されています。

